



平成19年5月8日

国土交通省
道路局長 殿

今後の道路政策や道路の整備、管理についての意見

- 1 重点化を進める上で特に優先度の高い政策
 - ・ バリアフリー対策（歩道の段差の解消など）。
 - ・ 日常の暮らしを支える生活幹線道路の整備、改良。
 - ・ 交通事故対策（通学路を主とした歩道の設置など）。
 - ・ 電線類の地中埋設化。
 - ・ 自転車利用促進（サイクルロード）。
 - ・ 植樹など道路景観の改善。

- 2 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと。
 - ・ 沿道の住民、集落などが道路の管理にもっと参画できるよう行う。
 - ・ 事業の実施に当たって早い段階から住民尾考えや意見が十分に反映される取り組みをもっと適切に行う。
 - ・ 個別の事業のスピードアップを図るなどスケジュール管理を徹底する。

- 3 その他（意見、要望）
 - ・ 道路特定財源の一部が海路（航路補助）部分にも活用できるように海洋基本法の中でも検討して欲しいものです。各離島の自主自立のためには不可欠の課題です。
 - ・ 不思議なことに屋久島には国道がない。何とかならないものか。

屋久町長 日高 十七郎

